

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 9日

札幌市長 様

提出者

住 所 札幌市西区二十四軒4条2丁目1-29

氏 名 住友林業株式会社 住宅事業本部 札幌支店

支店長 熊田 則夫

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 011-805-0345

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	住友林業株式会社 住宅事業本部 札幌支店
事業場の所在地	札幌市西区二十四軒4条2丁目1-29
計画期間	2023年4月1日~2024年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

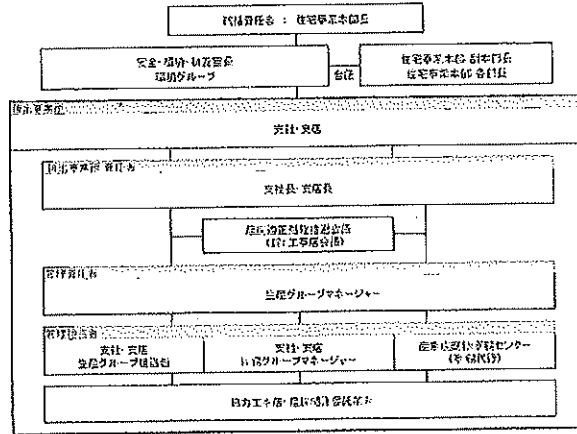
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	売上高(連結) 1,669,707百万円(2022/12期)
③ 従業員数	住友林業(株) 5,733名(2023/4) (札幌支店 60名)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、及び建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律並びに関係法令に従い、産業廃棄物を適正に処理する委託契約を各処分場と締結。 工事現場より同様の委託契約を締結した収集運搬業者との間で指定の処分場へ持ち込み処理を行なっている。

(日本工業規格 A列4番) 5.6.12



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(2022年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり	t
	(これまで実施した取組) ・木材のプレカット化 ・廃プラスチック類の簡易包装 ・発砲系断熱材のプレカット化 ・広域認定制度の実施 ・簡易梱包		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) ・外部下地材のプレカット化		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラス・陶磁器くず がれき類、廃石膏ボード、建設混合廃棄物、ダンボール、地盤改良残渣(がれき類) 地盤改良残渣(建設汚泥) バックン、他トンバック、袋を利用したの分別
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も継続して分別に取り組む

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度 (2022年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・排出事業者として処理場訪問を年1回実施 ・解体について現場からの排出時、処理場搬入時:写真撮影を行う。 ・電子マニフェストで処理 ・広域認定制度を実施 			

		【目標】		
② 計画	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	全処理委託量	別紙のとおり		t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙のとおり		t
	再生利用業者への処理委託量	別紙のとおり		t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>・昨年度同様に適正な処理・処分がされているか 処理場訪問を年1回実施 優良認定処理業者への処理委託を推進する</p>				
※事務処理欄				

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請け完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模がわかるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによつて減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項のすべてを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

2022年度 産廃発生内訳明細(R4 4/1~R5 3/31)

単位:トン

札幌市	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設系混合廃棄物	石綿含有廃棄物	合計
電子排出量	18.219	0.448	124.402	2.600	28.803	54.531	768.320	78.000	12.130	1087.453
総排出量	18.219	0.448	124.402	2.600	28.803	54.531	768.320	78.000	12.130	1087.453
優良認定処理業者処理委託量の再生利用業者への処理委託量	0.001	0.000	120.300	0.000	28.423	35.281	0.000	0.200	9.220	193.425
	18.219	0.448	124.402	2.600	28.803	54.531	768.320	78.000	12.130	1087.453

優良認定処理業者：三基開発㈱、㈱アールアンドイー、㈱マテック

産業廃棄物処理計画における目標値 (R5 4/1~R6 3/31) (約20%)

単位:トン

札幌市	廃プラスチック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	建設系混合廃棄物	石綿含有廃棄物	合計
総排出量	14.575	0.358	99.522	2.080	23.042	43.625	614.656	62.400	9.704	869.962
優良認定処理業者処理委託量の再生利用業者への処理委託量	0.001	0.000	96.240	0.000	22.738	28.225	0.000	0.160	7.376	154.740
	14.575	0.358	99.522	2.080	23.042	43.625	614.656	62.400	9.704	869.962